

5月15日発売の月刊「クオリティ6月号」に記事が載りました。

http://www.qualitynet.co.jp/history/Q2006_06/index.html

本会設立の発端となった市民活動促進センター指定管理者選定に潜む問題の数々を記事にしています。以下に一部引用します。

詳細は月刊「クオリティ」2006年6月号(通巻475号)をご覧ください。

=====
連載「公費天国 追跡 北海道の闇 vol. 6」

タイトル 「道庁一家の醜い身びいき～初の指定管理者制度」

公共施設の管理・運営を民間に任せたらーという「指定管理者制度」が4月から全国でスタートした。

・・・以下略・・・

小見出し1 民間の受託は釧路だけ

小見出し2 前評判は「民の圧勝」

小見出し3 身びいきな選考

選考は各施設ごとに設けられた「選定委員会」にゆだねられた。

・・・3段落略・・・

得点で勝ったのに、判定結果が逆転した施設の 하나가「市民活動促進センター」である、敗れたのはNPO法人で、市民活動の分野で大きな実績を持つ「道NPO 株式会社」だが、「財政基盤が弱い」

「運営に偏りが懸念される」などの理由が付けられたといい、この裁定に強く反発した同法人は行政訴訟を提起する構えを見せている。

もともと同法人と道とは日常面で密接な関係にあるのに、今回のことで思わぬ亀裂が生じてしまった。

小見出し4 なぜ外郭団体擁護か

・・・以下略・・・

=====
以上が、クオリティの記事抜粋です。